

長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第348号

ハバシ

先般、両親が金婚式を迎え、家族でささやかな祝いの会を開いた。老夫婦は互いに感謝の言葉を述べながら、孫も囲んでこれまでの苦労話や思い出話に花を咲かせた。先々月、母が予期せず病に倒れ入院もしたので、その快気も喜ばしいことであった。

私は万感の想いだつた。というのも、両親は昔から言い争いが多く、言葉を選ばなければ、よく五十年も耐えられたな、というのが率直な感想である。息子として一番近くで二人を見てきただけに、結婚五十年という歳月に想いが溢れた。

さらに意外だったのが、母が入院中、やたらと父のもとへ帰りたいと言ったことだ。普段は父に対する小言を四六時中言っ

夫婦

ひとつもし

ているくせに、とにかく父と一緒に居たいと繰り返した。

考えてみると、生まれも育ちも全く違う二人が、人生を共に歩むのが夫婦である。その違いが小競り合いを生み、時に喧嘩もする。分かり合えることもあるが、そもそも別人格である。価値観も考え方も違う。

そういう私も結婚して久しい身だ。未だに夫婦の何たるかは解らないが、多少は思うところがある。とにかく分かり合えないことは変に分かり合わない方がよい。無理に意見を通そうとすれば、逆に溝は深くなる。大事なのはただ一緒に居るということだ。あとは時間と身を任せるのだ。いつか来る金婚式で互いを労い合えれば、もう言うことは何もない。(龍)

池田綱政公所縁

しらすがかんのん
白須賀観音

夏まつり

7月13日(土) 17時00分~21時00分 於 長泉寺境内

ステージ、屋台出店、お楽しみ抽選会など、盛りだくさんのイベントを行うとともに、除災招福の霊験鮮かなる白須賀観音に供養を捧げます。どうぞお参り下さい。

万灯万華供養 本尊大祭

本尊薬師如来の厨子を明け、檀信徒精霊に万灯万華供養の施しを捧げる「本尊大祭」を、五月五日夜より八日にかけて奉修いたしました。

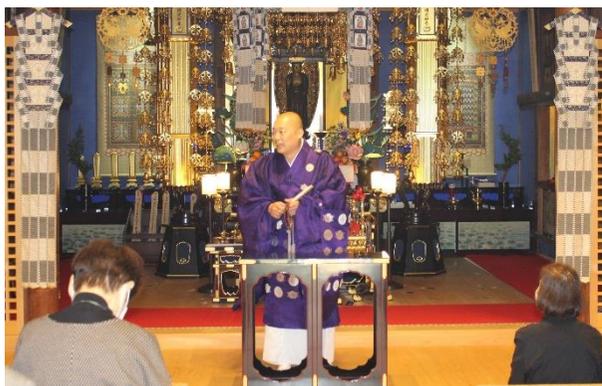
初夜、後夜、日中と一日三座の理趣三昧法会を三日間におたって奉修し、最終日の八日には真言宗岡山市内結衆寺院十五ヶ寺にご参集いただき、中曲理趣三昧法会を以って結願の法



樂を捧げました。

事前にお申込みをいただいた檀信徒各家精霊の法号（戒名）を書いた灯籠を道場に掲げるとともに同様の廻向塔婆も加持供養し、さらには本尊壇上にお位牌を安置して、亡き精霊に対し供養の誠を捧げました。併せて、この世が少しでも明るく、檀信徒皆様が笑顔で過ごせるよう、祈念申し上げた次第でございます。

加えて今年も、法話日本一を決める「H-1グランプリ」で二〇二三年チャンピオンに輝いた真言宗御室派福王寺（真庭市蒜山）御住職小谷剛璋僧正を能化としてお招きし、参拝者皆様へのご法話をいただきました。当法会を奉修するにあたり、ご協力、ご協賛いただきましたすべての皆様へ感謝を申し上げます。



寺子屋文化講座



第四十五回目の開催となった寺子屋文化講座は四月二日、岡山県ご出身でインド仏教界最高指導者として著名な佐々井秀嶺師の半生について学ぼうと、師の公認後援会「南天会」の元事務局長で真言宗醍醐派長命密寺（広島県神石高原町）ご住職の佐伯隆快師よりご講演を賜りました（参加約四十名）。八十五歳を超え、未だインドにおいて躍動される佐々井師の生き様やそのお人柄に触れ、より一層にその偉大さを感じ入る時間となりました。ご参加いただきました方にはありがとうございます。

博多 太宰府 福岡の旅

長泉寺杖心会は五月十八日
十九日、お大師様の足跡を訪
ねる「博多 太宰府 福岡の旅」
を開催し、参加十八名とともに
天台宗観世音寺、太宰府天満宮、
真言宗南蔵院、櫛田神社、真言
宗東長寺、管崎宮などを巡拝。
中でもメインは、お大師様が
最初に建立されたと伝わる真言



真言宗御室派別格本山鎮国寺 ※写真中央左が立部祐道大僧正猥下

杖心会は、檀信徒
皆様との交流も兼ね、
様々な巡拝旅行を開
催しております。
次回は、下記ご案
内の通り、十一月に
奈良県奈良市菩提山
正暦寺、さらには
大阪府河内長野市に
ある天野山金剛寺へ
の巡拝旅行を計画し
ております。詳しく

宗御室派別格本山鎮国寺にて、
総本山仁和寺前門跡でもあらせ
られる立部祐道大僧正猥下（鎮
国寺名誉住職）に謁見し、直々
にご法話を賜りました。
おかげ様で二日とも天気恵
まれ、博多の美味しい食も堪能
しながら、楽しく有意義な旅と
なりました。
ご参加いただいた方々には、
厚く御礼申し上げます。

は追ってご案内させていただきますので、ぜひ多くの方にご参加いただければ幸いです。



太宰府天満宮



高野山真言宗別格本山南蔵院

日本清酒の源流をたどる

菩提山正暦寺 天野山金剛寺 参拝

11月16日(土)～17日(日)

室町時代に真言僧侶によって開発された日本清酒。その発祥地である「菩提山正暦寺養食市」、並びに当山とも法縁があり、僧坊酒「天野を 生んだ」天野山金剛寺河内長野市」を巡拝します。費用、旅程詳細などについては追ってお知らせいたします。

主催 長泉寺杖心会

長泉寺ボランティア基金会

令和六年能登半島地震救援募金

志納者ご芳名

令和六年三月十三日～五月三十日

敬称略 順不同

田中幸治 中村久美子 白神美保
原田清子 佐藤恭子 小川孝雄
光岡香里 前原幸子 伊藤圭子
杉原辰子 難波治子 富田伊久子
富田英行 森本絵梨子 玉井茂松
黒住トシ子

『いづみ』前号掲載の同募金志納者の中で、左記の方々のご芳名が記載できておりませんでした。ここに深くお詫び申し上げますとともに、あらためてご芳名を掲載させていただきます。

原田清子 横田喜代子 芳賀恵子
大寺真由美 山田紀香 白神勝彦
高瀬喜与江 人見雅子 高杉妙子
丸山順恵 多田章利 小林忠彦
徳束嘉隆 難波治子 原田恵昭
石原真名美 寺村昭子 工藤恭子
徳束清隆 玖村年子 浦上洋
福田喜代美 宮本伸一

「ご詠歌巡礼」へのお誘い

長泉寺ご詠歌会えいかいは現在、月に一回ほどのペースで近県にあるお寺へお参りし、そのご本堂でご詠歌を奉納する「ご詠歌巡礼」を行っております。

ご詠歌とは本来、西国観音霊場巡りや四国八十八カ所巡りでお唱えする「巡礼歌じゆんれいか」です。しかしながら、その楽理、および組織が大成して以降（特に戦後）、お寺の法要での奉詠や、ご詠歌大会、ご詠歌コンサートなどがその活動の中心へと変わっていききました。それらはとて



曹洞宗宝鏡寺（高梁市） 令和6年4月9日

も華やかなるものが多く、その甲斐あって、かつては日本各地のお寺でご詠歌が盛んに唱えられるようになりました。

戦後、ご詠歌はまさに栄華のときを過ごしました。時代はどんどん変化し、平成、令和と時代が進むにつれて、ご詠歌人口はみるみるうちに減少していききました。

当山でも、毎週火曜日にお稽古を行いながら、様々な法会で奉詠するほか、高野山金剛講こんどうこう（金剛流御詠歌の本部）が主催する大会に出場するなどしながら長らく活動を行ってききました。だんだんと人数は減っていき、現在ではたった三名を残すのみとなりました。このままでは長泉寺ご詠歌会は無くなってしまうことでしょうか。

そこでこの度、ご詠歌を元の形に戻してみようと新たな試みを実施することにしました。それが「ご詠歌巡礼」です。月に一度、県内を中心にご縁のあ



真言宗木山寺（真庭市） 令和5年11月7日

る様々な寺院へ出向き、そちらのご本堂でご詠歌をお唱えするのです。そして、その地域にある魅力的な場所を観光したり、美味しいローカルグルメを堪能したりして、夕方までには当山へ帰って来るといふ楽しい半日旅行となります。

もしご興味のある御方がいらつしやいましたら、ぜひお寺までお問合せ下さい。初心者の方でも大歓迎です。ご詠歌は決して難しいものではありませんし、丁寧にご指導させていただきます。

奉納

この度、当山境内で使用するための車椅子を二台、左記の方々より奉納いただきました。この場をお借りして、深く御礼を申し上げます。

宮本行一様 玉野市北方

一守公子様 玉野市梶岡

高取邦子様 倉敷市連島

瀬尾文子様 香川県土庄町



玉佛堂 奉納のぼり幡のご案内



令和4年春に落慶した「玉佛堂」は、檀信徒精霊を弔うため、主に檀家年忌法事を行う八角円堂です。その本尊である「玉佛釈迦牟尼如来」(中国洛陽市白馬寺請来)を講えるための「のぼり幡」を奉納いただけます御方には、当山までご連絡下さいませ。

玉佛堂奉納のぼり幡 5,000円也/一基

薬園の歴史を後世に残す

岡山歴史まちしるべ看板設置



この度、当山の鐘楼門の横に「岡山歴史のまちしるべ・御野郡南方村の薬園」という看板が建立されました。

当看板は、長泉寺の山号「薬園山」の由来ともなっている「薬園」の歴史を後世に伝えようと、「南方中道長泉寺町内会」が岡山市へ申請して立ったものです。「薬園」の歴史的な内容につきましては、『いづみ』第三四七号(令和六年三月十七日発行)のコラム「岡山藩学校と薬園」をご参照下さい。

灯笼流し

新盆の御方をはじめ、どうぞ皆様にはご来場、ご参拝くださいませ。

記

八月十六日十八時

於 西川 下石井公園

灯笼 九百円

当日千円

主催 岡山市仏教会

長泉寺の縁日法会

毎月8日10時～ 本尊縁日法会
法話/写経

21日10時～ 大師縁日法会
法話/写経/空海プログラム(法話)/お接待

28日10時～ 不動縁日護摩供
必生不動明王護摩供養/不動真言念誦行

光孝天皇から宇多天皇へ

受け繋がる遺志

今回は、次号と二回に分けて長泉寺の本山、御室仁和寺を紹介させていただきます。

真言宗御室派総本山仁和寺は、仁和四年（八八八）に開山されました。その創建には、第五十八代光孝天皇と、第五十九代

宇多天皇の二帝が大きく関わっています。

光孝天皇（八三〇～八八七）

とは、鷹狩や相撲など広く文化に精通した御仁で、中でも特に和歌に秀でていらっしやいました。『古今和歌集』に納められる「君がため春の野に出でて若菜つむ わが衣手に雪は降りつつ」はよく知られています。小倉百人一首としても

有名なこの歌において、愛するものを「君」と呼ぶ心情は、

深く民衆の安泰を願う光孝帝の御心に満ち溢れているものでしょう。

ときに仁和二年

（八八六）、光孝帝は大内山の南麓に御願寺の建立を発願されました。しかしその翌年、志半ばにして崩御なされ、その御

遺志を継がれたのが初代門跡にして我が国初の法皇（ご出家された太上天皇の尊称）となられた宇多天皇（八六七～九三一）です。

仁和寺のおこり

光孝帝の悲願が継承され、宇多帝によって開山された仁和寺は、創建時の元号をとって命名されましたが、当初は「西山御願寺」と呼ばれたようです（日本紀略）。落慶法要には、

導師としてお大師様の甥で、後に高野山金剛峰寺の復興に勤める東寺長者真然大徳が招かれ、光孝帝の一周忌を兼ねて修されました（仁和寺御伝）。仁和寺の創建は、亡き光孝帝の悲願継承のためであるとともに、その

弔いが目的だったのです。

その後、仁和寺の初代門跡となられた宇多法皇は、仁和寺境内に「円堂院」という八角円堂を建立し、そこで日々、光孝帝

の菩提を祈られたと伝わっています。

宇多天皇と御室

時の帝・宇多天皇は、光孝帝より皇位を継承した後、閑白の地位にあつた藤原基経と対立してしまいます（阿衡事件）。しかし、基経の死後は天皇自らが政治の指揮を振るう「親政」を実施。菅原道真らを登用し政治改革を実行するなど、その手腕は「寛平の治」として高く評価されました。そして寛平九年（八九七）、三十一歳で第一皇子である醍醐天皇に譲位され

るとともに、昌泰二年（八九九）に、本覚大師益信より伝法灌頂を授かり、法皇となられました。

法皇はその後、延喜四年（九〇四）に仁和寺境内に自らがお住まいになる御所を造られ、本格的な御修行にも取り組まれました。この御所こそが法皇の住



真言宗御室派 総本山仁和寺

坊であることから「御室」と呼ばれるようになったのです。現在の「御室」とは、何よりは門跡院下の意であり、そして仁和寺それ自体の呼称、さらには宗派の名前ともなっています。加えて仁和寺周辺一帯の地名としても広まっており、現在に至っています。

仁和寺の栄華

仁和寺は、初代門跡となった宇多法皇以降、明治時代の第三十世純仁法親王に至るまで、約千年にわたって皇子皇孫がその法位を継承されたことから、門跡寺院の中でも特に格の高い「筆頭門跡寺院」の地位を誇り



仁和寺開山 宇多法皇

ます。

その最盛期は平安時代後期で、仁和寺の周辺には門跡の住坊や院家、子院などの堂宇が七十余。その一帯が寺院堂塔の立ち並ぶ場所となりました。元永二年（一一一九）、大火災によって仁和寺金堂や回廊、鐘楼、経蔵などが焼失してしまいましたが、第五代門跡となられた覚性入道親王（一一二九〜一一六九）は、金堂、五重塔、御影堂などを再建。さらには仁安二年（一一六七）、日本総法務（全国の社寺を管理統率する僧綱所の長官職）に就き、鎌倉時代中期頃まで日本宗教界最高位としての実権を握ったのです。

ところが室町時代に入ると、戦乱の拡大に仁和寺も巻き込まれていきます。そして応仁の乱において伽藍を焼失し、しばらくは波乱の時代を迎えることとなります。（次回に続く）

「アスカ」

日本でアスカと言えば、仏教がもたらされた時代。「飛鳥」、また「明日香」と書きます。まるで仏教が鳥のように空を飛んで来たかのようです。

飛鳥時代の前の時代は何かというところ、日本史の時代区分では「古墳時代」ということになります。

が、これは後の時代にできた呼び名であり、はっきり言ってよくわからない時代です。六世紀中ごろに「仏教公伝」（公的な仏教の伝来）があり、それから間もなく聖徳太子がご誕生。飛鳥時代が到来するわけですが、本格的な日本史もそこから始まったと言えます。

私見ですが、「アスカ」という言葉はタミル語——インドに発祥しているものと思われる。インド史において最盛を誇

日本語と真言宗

名譽住職 光研

った国「孔雀王朝」は、アシヨールカ王が仏法を以って統治しました。孔雀は空を飛びませんが、毒蛇を食べても生き残るジャングル最強の生物であり、その功德は『孔雀明王経』という經典に示されました。同経を元に、かつて仁和寺では「孔雀大法」が頻繁に修され、鎮護国家、玉体安穩が祈られたことです。

アスカとは、この孔雀王朝の王アシヨールカから来ているのかもしれない。「タミル語」を語源とするのは、アスカのほかにおそらくヤマト（大和・倭）もそうでしょう。漢文化ではない語源が、仏教とともに早々に伝来し、我が国を形成していったのです。（続）

参考文献 大野晋『日本語の形成』（岩波） 田中孝顕『日本語Ⅱタミル語 接触言語説』（幻冬社）

長泉寺合唱団 **Naga**

ハートフルコンサート
～岡山空襲メモリアル～

指揮:佐々木英代 ピアノ:田尾弥生子
ゲスト:正富明日香

6月29日(土)14:00 開演
13:30 開場 15:30 終了予定

場所 長泉寺本堂
入場無料・予約不要
お問合せ:086-228-7450

第二十五回
平和の鐘を鳴らそう!
八月十五日正午

於長泉寺 鐘樓門
主催 岡山ユネスコ協会

弘法大師ご誕生慶祝
青葉まつり

奉修 六月十五日(土)午後一時半～於常福寺 葵町
服装自由・参拝料五百円(記念品授与)
主催 岡山市弘法大師降誕会

回向 檀信徒各家精霊
盂蘭盆総供養法会
8月15日(木)9時～10時 受付8時半～ 於:玉佛堂

永代供養をされている方、お盆行時にお留守をされた方など、
ご参列を希望される方にはお時間までにお位牌をご持参ください

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中 参加無料

■73回目
6月30日(日) 13:30-16:00

■74回目
7月28日(日) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。
どなたでもお気軽にご参加ください。

ご先祖・萬霊供養 日帰りバスの旅
おせがき行

8月24日(土)午前7時 長泉寺出発
四国別格霊場八番札所 愛媛県大洲市
十夜ヶ橋 永徳寺 参拝

西日本豪雨災害により被災喪失されたご本堂が、この度新たに新築落慶されました。その新本堂で「施餓鬼供養法」を修し、参加申込者各家精霊に回向を捧げます。
参加申込書、並びに詳しいご案内はいつみ次号にてお知らせいたします。

長泉寺の公式ホームページをぜひご利用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます